

## 2011年度医療部会組合員活動交流集会報告

開催日時：2011年12月10日（土）13:00～16:30

会場：東京都生協連会館3階

参加者数：121名（東京保健生協26名、東京ほくと医療生協14名、西都保健生協14名、東京ふれあい医療生協20名、東京西部保健生協12名、北多摩中央医療生協12名、城南保健生協10名、東京葛飾医療生協4名、養生会4名、コープとうきょう1名、講師2名、事務局2名）

冒頭、主催者を代表して村松茂（城南保健生協）実行委員長が挨拶されました。記念講演「無縁社会からきずな社会へ」（NHKプロデューサー・板垣淑子氏）と特別講演として「東日本大震災の被災状況と復興への取り組みについて」を松島医療生協の青井克夫専務理事をお招きし講演していただくことになりました。地域や家族とのきずな、これからの地域社会、生活協同組合の協同のあり方についてご一緒に考えましょうと挨拶されました。



### 「無縁社会からきずな社会へ」

板垣淑子さん（NHK首都圏放送センター・チーフプロデューサー）が記念講演



講演する板垣淑子さん

講演の冒頭にNHKスペシャル番組「無縁社会～孤独死32000人の衝撃」の映像が流れ、会場の組合員さんも固唾をのんで熱心に見入っていました。続いて板垣淑子さんは50分にわたって、主に高齢者の孤独な実態について講演されました。孤独死になった場合、たとえ氏名がはっきりと確認されていても、身寄りに親族がない場合は「行旅死亡人」としてあつかわれ、無縁仏

に埋葬される。一人暮らしの人ががんの手術を受けようとする「保証人がいないと入院できません」と断られ、そういう人のための保証人請負会社を紹介される実態や高度の認知症であるにもかかわらず、介護保険を利用していない人がNHKの調査でも4万4千人を超えていることなど現在の社会保険制度のひずみを訴えられました。そして地域に高齢者同士が支えあうつながりの必要性を強調されました。来年2月にスペシャル番組に放映予定であり、ぜひ多くの意見をお寄せしてほしいと話せられ、大きな拍手の中で講演を終えられました。

#### 参加者の感想

◎板垣さんの無縁社会に対する取材姿勢に感動しました。どんどん崩れていく人間関係を何とかしたいとの思いが伝わってきました。

◎板垣さん、とてもかしくて感性的すぐれた方だと思いました。こうした方がNHKの職員だと心強く、安心できます。今後も社会の矛盾に切り込む番組をつくりつづけてほしいです。

◎社会保障制度に欠陥があるという指摘は本当にそのとおりだと思います。もっともっと大勢の人に聞いてもらいたい内容でした。

## 悲しみをのりこえて 「東日本大震災と復興のとりくみ」

### 松島医療生協青井克夫専務理事が特別講演

3月11日、東日本大震災は東北地方沿岸地域を中心に壊滅的被害にさらされました。松島医療生協でもディサービス「なるせの郷」の建物が津波により全壊したのをはじめ、介護職員3名を含む多くの利用者、地域組合員が亡くなりました。九死に一生の津波体験、懸命な復旧・復興への取り組み等約50分にわたって熱く語られました。利用者が亡くなる、同僚が亡くなる、なぜ私が…。数ヶ月たっても尚精神的被害を受けている職員も少なくないとのことでした。全国からの医療福祉生協からの支援もうけ診療の再開、組合員訪問などとりくみ、9月24日には、なるせの郷の再建計画のための臨時総代会を開催するなど復興にむけての力強い講演でした。



- ◎被災の苦しみ、その中での医療・介護に取り組まれている奮闘に頭が下がります。これから復旧・復興に向けての長い長い道のりが続いていくこととなりますが、頑張っていってほしいです。
- ◎松島医療生協の震災後の介護現場を報道した「ニュースゼロ」の番組を見て、職員の思いにふれ、泣きそうになりました。彼女たちのつらい体験を想像し、共感し、復興・復旧に少しでも協力したいと思いました。
- ◎津波の被害により心に傷を負ったまま介護事業の仕事をしなくてはならないその切なさに胸が痛みました。私も現在ヘルパーの仕事をしているので身につまされました。

### 4つの生協から演題報告



「震災ボランティアに参加して」東京保健生協・鷺見悟郎さん、高瀬完吾さん



「花束訪問から地域の支え合い活動へ」北多摩中央医療生協・勢 壮史さん



「地域の絆を深める場として13年」城南保健生協・古口昭代さん



「福祉のまちづくり・杉並と購買生協との協同の取組み」東京西部保健・川村佐重子さん

「今回の講演はとてすばらしかった」という声が数多く寄せられました。今年3月12日予定していた組合員活動交流集会は約9ヶ月延期になりましたが、準備の苦労がむくわれた思いです。地域の助け合い、ふれあい、支えあい、人と人のつながり合うまちづくりにむけ再スタートです。

